



# 農・畜産・水産業の振興

## 農・畜産・水産業の振興と農村の活性化

主担当部局：農林部

経済の活性化



東京大田市場での柿のトップセールス

### 目指す姿

農業・畜産業・水産業と農村が持つ資源を最大限に発揮させることにより、奈良らしい農・畜産・水産業の振興と農村の活性化を図ります。

目標

平成35年までに、**農業産出額**を

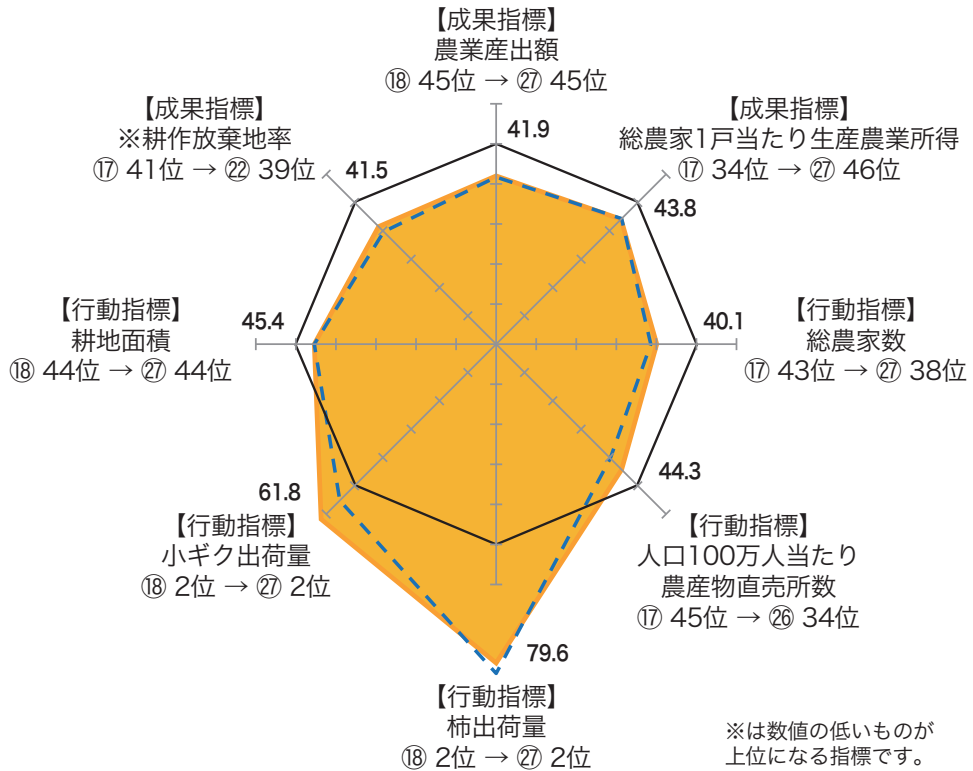
**446**億円

に増加させます。

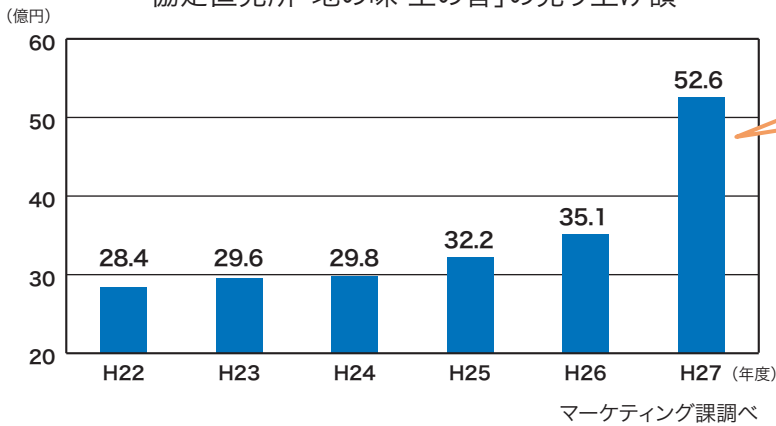
(平成25年:432億円)

分析

● 主な指標

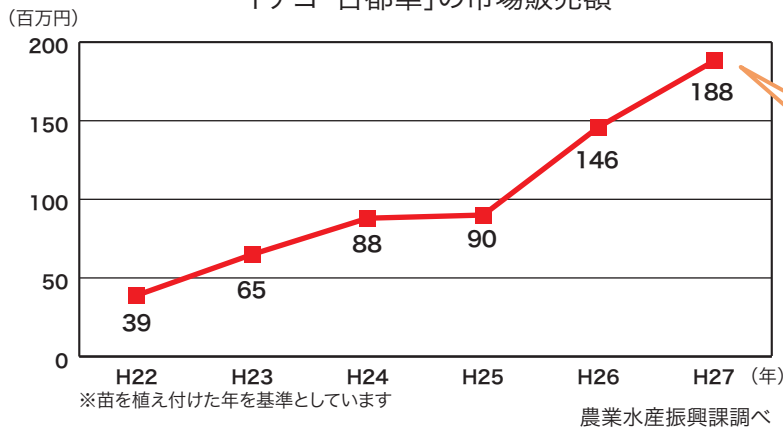


協定直売所「地の味 土の香」の売り上げ額



新たに3店舗と協定を締結するとともに、PRのためのイベント出展やオリジナル加工品の新規開発等の取組により、売り上げ額が増加しています。

イチゴ「古都華」の市場販売額



生産者の増加や県内、首都圏等へのPRにより、市場販売額が年々増加しています。

# 奈良の美味しい「食」の創造と発信に取り組みます。

主担当課：農林部 マーケティング課

## 戦略目標

- ▶ 平成31年度までに、**首都圏での大和野菜を取り扱う仲卸業者を19業者に増やします。**(平成24年度:3業者)
- ▶ 平成27年度から平成29年度までに、**県産農産物の地産地消レストランを20店舗に増やします。**(平成27年度:1店舗)

## 取組

項目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
<b>首都圏・海外等での販路拡大</b>				
首都圏での奈良の「食」PR	奈良フェア開催・奈良の「食」PR			
東京での県産食材レストランの運営	レストラン運営			
首都圏における県産農産物評価向上支援	PR試食会、農産物の定期配送			
首都圏での大和野菜等販路開拓	知事トップセールス、シェフへのPR			
食と農のプロモーション	多様なプロモーションの実施			
奈良の農産品海外販路開拓	情報収集 ●海外展示会出展 ●海外展示会出展 ●海外展示会出展			
<b>地域ブランド力の向上と販売プロモーションの強化</b>				
奈良県産農産物を家庭で食べよう推進	PR実施			
JR奈良駅アンテナショップでの情報発信	農・林・食のPR			
駅前広場でのマルシェ開催によるにぎわいづくり	マルシェ開催支援			
消費者への県産農産物のPR	PR実施			

項目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
<b>奈良の美味しい「食」づくり</b>				
奈良フードフェスティバルの開催	継続開催			
眺望のいいレストランのPR	情報発信			
学校給食における地産地消の促進	地産地消学校給食の促進と情報発信			
地産地消レストランの認定・支援	基準制定・認定			
<b>多様な流通経路の形成による販売促進</b>				
県中央卸売市場の活性化	将来ビジョンの検討	将来ビジョン実現に向けた取組 ●策定		
農産物直売所への支援	PR支援・残留農薬検査 継続的支援・新たな設置の検討			
<b>6次産業化の推進</b>				
県が主体となった縦型事業協同組合の育成	モデル実証 ●組合設立			
6次産業化の推進・支援	サポートセンター運営、新商品開発・販路開拓を支援			



アジア最大級の食の見本市「香港FoodExpo2016」出展



県内最大級の食の祭典「奈良フードフェスティバル」

## マーケティング・コスト戦略に基づき、県産農・畜・水産物の振興を図ります。

主担当課：農林部 農業水産振興課 畜産課

### 戦略目標

- ▶ 平成32年度までに、**チャレンジ品目** (大和野菜、サクランボ、切り花ダリア、切り枝花木、有機野菜、イチジク、アユ、アマゴ) の生産額を**20億円**に増やします。(平成25年度:18億円)
- ▶ 平成32年度までに、**リーディング品目** (柿、キク、イチゴ、茶、大和畜産ブランド、金魚) の生産額を**136億円**に増やします。(平成25年度:126億円)

### 取組

項目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
<b>チャレンジ品目の生産拡大・販路開拓</b>				
大和野菜の生産拡大	首都圏出荷に向けた増産モデル圃の設置・運営 高品質・安定生産・生産拡大・首都圏出荷に向けた支援			
サクランボの増産とブランド化	増産、ブランド化へ向けた支援			
ダリア産地の活性化	切り花生産・需要拡大に向けた研究・普及、優良品質球根の生産安定			
切り枝花木の高品質安定生産	高品質・安定生産、出荷調整技術等開発・普及、生産拡大			
有機野菜等の振興	収量・品質向上のための展示ほ・研修会と生産拡大			
イチジクの高品質果実安定生産の支援	高品質・安定生産、首都圏出荷に向けた支援			
アユ漁業の振興	「やまとの鮎」(生まれも育ちも奈良の鮎) 育成・販売及びブランド化の推進 健全な種苗の安定供給及び適期放流			

項目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
<b>リーディング品目の産地競争力強化</b>				
柿産地の競争力アップ	高品質果実生産の推進、新品種育成 首都圏でのPR、輸出拡大・定着支援			
キクの高品質安定生産とブランド力強化	高品質安定生産技術開発・普及、新品種育成 出荷期間拡大のためのハウス導入 安定生産のための電照栽培推進			
高品質安定生産の実現によるイチゴ産地の復興	新品種の育成、高品質・安定生産に向けた支援 新育苗技術の導入促進、検品方法の改善啓発 高品質安全生産技術の実証			
味と香りの特徴を活かした大和茶産地の復興	高級かぶせ茶・てん茶の生産支援、海外販路開拓のための可能性検証 新茶種・新製品等の試作支援 GAP取得支援			
大和畜産ブランドの競争力強化	高品質・高付加価値化の支援 生産拡大・販売促進への支援			
<b>水稲に代わる高収益性作物の導入・推進</b>				
水田に適した高収益性作物の導入推進				
<b>品質によるブランド認証制度の推進</b>				
制度の運用 ● 創設				



品質によるブランド認証制度「奈良県プレミアムセレクト」イメージ(イチゴ、柿、大和牛)



生まれも育ちも奈良の鮎「やまとの鮎」

## 意欲ある担い手の育成・確保と農地のマネジメントを推進します。

主担当課：農林部 担い手・農地マネジメント課

### 戦略目標

- ▶ 農業の**新規就業者**を**毎年60人**増やします。(平成18年度から平成25年度の平均:33人)
- ▶ **農業法人**を**毎年10法人**育成します(平成18年度:9法人/年)
- ▶ 平成35年度までに、担い手への**農地集積率**を**34%**に増やします。(平成25年度:12%)

### 取組

項目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
<b>農業の新規就業者等への支援</b>				
農家実践研修及び就農後のフォローアップ	農家での実践研修、就農支援、農地の斡旋、経営指導			
農業就農意欲の喚起と就農後の定着支援	就農相談、就農後の営農定着への支援			
「なら食と農の魅力創造国際大学校(NAFIC)」での担い手の養成	●開校 「食」と「農」の担い手の育成			
<b>農・畜産・水産業経営に意欲ある担い手の育成・確保</b>				
農業・畜産経営に対する支援	意欲ある担い手への農業技術、経営の複合化・多角化、法人化等支援			
地域の中心経営体への支援	人・農地プランの作成等支援			
女性農業者の活躍促進	女性の新規農業参入の促進、ネットワーク構築とビジネスモデルの構築			
企業の農業への参入支援	企業参入支援、施設等整備支援			
農家のニーズに合わせた雇用労力の確保	農作業繁忙期における労働支援、耕作放棄地再生支援			
水産の体制整備	支援体制の検討、整備の推進			

項目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
<b>多様な担い手の育成</b>				
障害者の農業就労の促進	障害者就労支援事業所への支援、農業への障害者雇用の推進			
意欲ある兼業農家に対する支援	集落営農の組織化支援			
<b>農地マネジメントの推進と農地の有効活用への支援</b>				
農地マネジメントの推進	重点的に農業振興を図る地域のゾーンニングによる農地の有効活用の推進			
担い手への農地の集積	農地中間管理事業を活用した担い手農家への農地マッチングの支援			
農地の有効活用への支援	耕作放棄地再生活用への支援			
農地マネジメントに向けた農地等の基礎資料の整備	地籍調査の推進			



なら食と農の魅力創造国際大学校での農業実習



農地中間管理事業を活用した担い手農家への農地のマッチング

## 地域資源を活用した農村地域の活性化を図ります。

主担当課：農林部 農村振興課

### 戦略目標

- ▶ 平成31年度までに、**地域づくり協議会へ参加する集落数を25集落**に増やします。(平成26年度:17集落)
- ▶ 有害獣である**ニホンジカを毎年10,000頭捕獲**します。(平成27年度:8,496頭)

### 取組

項目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
<b>農産物等を活用した地域産業の振興</b>				
薬用作物の生産振興		薬草栽培に取り組む市町村への支援		
		省力・低コスト栽培技術の開発と普及		
柿葉生産ビジネスの推進		増産へ向けた支援		
<b>農村資源を活用したにぎわいの創出</b>				
農村資源を活用した地域づくり	協議会の設立	イベントの実施等 地域づくり活動への支援		
農村周遊自転車ルートの整備	測量・調査・実施設計	整備工事		
NAFIC周辺の賑わいづくり	各ゾーンの基本計画の策定・調査・設計・整備			
地域の食と農を活かした「ぐるっとオーベルジュ」の整備とネットワーク化	基本計画の策定支援	整備推進・ネットワーク化		

項目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
<b>農村資源の持続的な活用</b>				
農村資源を活用した再生可能エネルギー活用		導入への支援		
ため池、水田を活用した貯留対策の推進		実証実験・実施・効果検証		
農業水利施設の長寿命化の推進		施設の計画的な維持修繕・更新対策の実施		
農業・農村の多面的機能の維持・発揮活動への支援		中山間地域等直接支払、多面的機能支払を活用した地域資源の保全活動への支援		
<b>農村資源情報の発信</b>				
ならグリーンツーリズムHPでの情報発信		イベント等掲載情報の更新		
冊子を活用した情報提供		「農林ジャーナル」の発行、イベント等掲載情報の更新		
<b>総合的な鳥獣被害防止対策の推進</b>				
鳥獣被害防止対策の推進		地域ぐるみの被害防止活動の実施、侵入防止柵の設置		
		有害鳥獣の駆除・捕獲、狩猟者の確保・育成		
「ならジビエ」の推進		「ならジビエ」取扱店舗の登録・PR実施		



薬用作物(大和トウキ)の栽培(宇陀市)



奈良県農村地域づくり協議会設立総会



侵入防止柵と捕獲檻(イノシシ用)

農・畜産・水産業振興のための体制整備を図ります。

主担当課：農林部 企画管理室、農業水産振興課、畜産課

戦略目標

- ▶ 平成30年度までに、**農・畜産・水産業の振興に関する条例**を制定します。
- ▶ 平成30年度までに、**研究者1人当たりの産地で活用された技術件数を0.5件/年に増やします。**  
(平成25年度:0.38件/年)

取組

項目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
<b>農・畜産・水産業の振興に関する条例の制定</b>				
条例の制定		検討	●制定	
<b>畜産・水産振興のための体制整備</b>				
畜産の体制整備		検討・整備の推進		
水産の体制整備		支援体制の検討、整備の推進		
<b>農業・畜産に係る研究機関の整備</b>				
農業研究開発センターの整備	整備	●整備完了		
畜産に関する研究機関の整備		あり方検討	整備に向けた取組の推進	
<b>農業研究開発センターの研究機能の高度化(漢方・育種・加工・栽培)</b>				
薬用作物の安定供給		優良品種の育成と省力安定生産技術の開発		
優良品種の育成		市場性の高い奈良オリジナル優良品種の開発、遺伝資源の保存と活用		
加工食品の開発と加工技術の研究		新しい奈良県オリジナル加工品の開発		
革新的な生産技術の開発		省力化と高品質栽培技術、女性に優しい農業機械の開発		



宇陀地域に適した薬草栽培技術の開発



奈良にゆかりのある遺伝資源の保存と活用(スイカ大和4号)

## これまでの成果

- 香港で開催された**アジア最大級の食品見本市「FoodExpo2016」**に初めて奈良県ブースを**出展**し、柿加工品の**商談**につながりました。

- ★ 柿(富有)、イチゴ(古都華・アスカルビー)、牛肉(大和牛)について、糖度等の品質を保証した**ブランド認証制度「奈良県プレミアムセレクト」**を創設しました。

- 食のアンテナショップ「**ときのもり**」のレストラン(シエル・エ・ソル)とNAFIC実践研修施設(オーベルジュ・ド・ぶれざんす桜井)が**ミシュランガイド**でそれぞれ**一つ星**を獲得しました。

- ★ 農業大学校を改編し、食と農の担い手を育成する「**なら食と農の魅力創造国際大学校(NAFIC)**」を開校しました。

- 新たに下市町等で地域づくりに取り組むための組織が設立され、合計**19組織**が**地域づくり協議会**に参加し、都市農村交流等を実施しました。

- 高度な研究開発をめざして、**農業研究開発センター**が桜井市に**移転**し、新たなスタートを切りました。

## 主な指標の動き

### ●よくなっている指標

人口100万人当たり農産物直売所数

**30.3**カ所  
(平成17年度 全国45位)



**160.0**カ所  
(平成26年度 全国34位)

地元産の新鮮農産物への需要の高まりから、農産物直売所数は着実に増加しています。

### ●変化が見られない指標、低下している指標

農業産出額

**476**億円  
(平成18年 全国45位)



**408**億円  
(平成27年 全国45位)

農業産出額は、全体では昭和59年をピークに減少傾向となっていますが、全国的にも低下していることもあり、全国順位は変わっていません。